

成果指標				
成果指標	要介護認定審査人数(人)			
指標設定の考え方	要介護認定申請受付者数を成果指標とすることにより過去のデータと照合しながら介護サービス受給者数の推移を押し測れ、給付費の推移を想定する事。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	500000%	500000%	0	0
実績	503000%	511300%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	適切に事業進行ができた。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	介護保険サービスを受けるために必須の要介護度を判定する審査会事務である。松前町・砥部町と共同開催しているが、申請件数が増加傾向にあり経費削減などの努力が求められる。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	評価委員会抽出事業

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	・審査会委員の報酬がほとんどであり、審査会が年間169回あるのであれば、事業活動実績にも記載すると分かりやすい。・担当責任者と所属長の評価がずれている。・認定審査事業は日替わりで4人構成と記載されている。その構成するための人数36人というのは、決して多くはない数字である。
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	